

津田道遠 みづたみちのぶ 官僚、法制學者、法學博士。文政十一年六月二十五日
 美作國生れ、明治二十六年九月二日歿（八元一五〇三）。幼名喜久治、
 通稱行彦、眞一郎。號天外如來、臥櫻居士。箕作阮甫、佐久間象山の
 洋學を學ぶ。蕃書調所教授を傳並を経て、文久二年オランダ留學。慶
 應元年歸國し、開成所教授。新政府に出仕して主は法制關係の官職を
 歴任。初代衆議院副議長、貴族院議員。明人社同人として啓蒙的論說
 多數。

譯著書、シモン、ピッセリング著『表記提綱』一名『表學論』（譯、
 明治七年十月号・政表課）、『如算表我觀』（明治八年一月瑞穂屋梓）
 等。